



「サクラクオリティ品質向上支援システム」 サービスリリースのご案内

2023年8月17日

<体系化の完成>

宿泊施設専門の不動産鑑定会社として2006年8月から17年間開発してきたDMO等との共同品質認証制度であり且つ品質向上プログラムである「サクラクオリティ」は宿泊施設向けSDGs基準を開発し、昨年2022年3月24日にはGSTCから基準の承認を得ることとなりました。これをもちまして、基本となる「安全」「安心」から、さらにより高度な「誠実性」の実践に繋がる品質管理、感染症拡大防止対策、そして自然環境保全、生物多様性の尊重、地域社会との関係改善、労働環境改善まで、宿泊施設の持続的な発展のための基準の体系化が完成いたしました。（→末尾、体系図ご参照）

<基準開示方針の転換>

コロナで大ダメージを受けた国内宿泊産業もアフターコロナ或いは2025年万博に向け、今後は「量から質」へ転換を図っていくために、また「観光立国」実現に向けて宿泊施設が地域において主体的な立場で品質向上に取り組む必要があることから、私どももこれまでサクラクオリティ参加施設様に限定して開示してきた基準（調査項目）を、旅館業の営業許可証を持つ国内すべての宿泊施設様に開示するよう方針転換することといたしました。

<開示する基準>

開示する基準のうち「安全」「安心」の「簡易調査」基準（300項目）はすべて無償でご利用いただけることとしました。また、より高度な品質管理である「詳細調査」基準（2000項目）も有償で皆様にご利用いただけることといたしました。（SDGs国際基準対応システムについては今後開発予定）

<システムの導入／特徴>

基準開示にあたっては、お忙しい業務の中でも日々取り組んでいただけるよう、書面やExcelファイルなどではなく、スマホで扱えるシステムといたしました。また、単に一時的な自己評価だけではなく、中長期的な品質向上に向けたPDCAサイクルを回せるよう「メモ」「画像」「改善コメント」を残すための機能を実装いたしました。

<ご利用方法>

基準そのものが品質管理のマニュアルの一部にもなり、従業員の皆様の日々のご利用は人材育成のトレーニングプログラムとしてもお役立ていただけます。作業範囲を予約からチェックアウトまでの37の「シーン」や「ハードウェア」「ソフトウェア」「ヒューマンウェア」に限定できる機能を設けたことから、「所有」「経営」「運営」のそれぞれのお立場で必要な部分の自己評価を行うことができます。改善すべきポイントを金融機関と共有することで中長期的な計画策定に用いるなど、宿泊施設経営の羅針盤としてもご利用いただければ幸いです。

<メッセージ>

2020年初頭以来、新型コロナウイルス感染症の影響で宿泊業界は大きなダメージを受けました。さらには人材不足や様々な資材や原材料の高騰化も懸念されています。一方で、ようやくアフターコロナと称することができる状況となり、訪日客も復活してきました。

そのような中、グラスゴー宣言の実現に向け日本でもSDGsに対する本気の取組みも求められています。まさに大きなうねりとして新時代が幕をあげようとしており、そのようなエポックを画する今こそ、宿泊施設様が起点となる地域と一体となった「観光立国」を、微力ながら皆様とともに実現してまいりたいと考えております。

<「モニター期間」のご案内>

2023年9月末まで、「詳細調査(2000項目)」「分析サマリー」を含むすべてのサービスを「モニター期間」として無料でご利用いただけます。10月以降の価格等は9月中旬にご案内申し上げる予定です。この期間に是非内容をご覧いただき、皆様の日々の品質向上への取組みにおいてどのように使えそうかご検討くださいませ。

また新しい取組みにつき、ご意見・ご要望などございましたら忌憚なくご意見賜りますようお願い申し上げます。

<お問い合わせ先>

一般社団法人 観光品質認証協会 統括理事
株式会社 サクラクオリティマネジメント 代表取締役
北村 剛史
メール：info@sakuraquality.com

<体系図>

サクラクオリティ 品質向上プログラム

「観光立国」に向けた、宿泊施設の品質向上と 宿泊施設から始める地域再生を支援

